

「ピアノとともに……」

クラリネットを持つ坂本さんとの出会いはもう24年前。私はまさしく指揮者の卵として市民響の前に立っていた。愛好家の集まるこのオーケストラの中で、どこか不思議な落ち着きと音楽的な雰囲気醸し出していた坂本さんが実はピアノ歴が長いということも、まもなく知るところとなった。そのキャリアは普通の愛好家の域を超えているのは確かなこと。多くの協奏曲をレパートリーとし、さりげなく演奏なさる。私が共演させていただいたラプソディ・イン・ブルーはピアノ弾きにとっては難曲でもあり燃える曲でもある。拙いタクトのもと、もっと遊び心のある演奏がなかりたかったのではないか……今思うと申し訳ないと感じる卵の自分だった。

それから17年後、今から7年前に再会。私の活動を応援して下さる「友の会」の会長をご多忙の中お引き受けくださっている。現在は合唱団も手がけていらっしゃる。ご自分で音をだされるからわかる音楽の世界の深み、この世界の表と裏、まだまだ未熟な私に厳しい目と暖かなお心で応援のエールを送って下さる。私も自分の手で感謝の響きをつむいでいきたい。本日の演奏会を心よりお祝い申し上げます。ピアノとともにこれからも素敵な人生を！ 指揮者 新田ユリ」